

(特活) とよなか市民活動ネットきずな 2月定例会の結果報告 2012-02-29・サロン

(1) 2011年度市民活動情報サロン受託関係

○2月のウイークリーサロン(結果、裏面参照)

- ・2月16日(木)18時30分～20時30分、「市民活動交流サロン(「ショーウィンドー展示団体と共に、団体のPRなど、サロンの活用で意見交換」)」。
- ・2月22日(金)14時00分～16時30分、「地域の活動場所を訪ねて—サークル翠(曾根西町3-18-16)「民家を活用して子ども文庫や地域で文化交流を進めている団体を訪問」。

(2) 「ポスト・とよなかの市民活動ガイドブック」「共同デスク」

- ・2月17日、打合せ、壁新聞第3号は、4月新年度の各団体で、新しい体制とか取り組み、中核市なって市民活動は…。次回打合せは、3月13日(火)10時30分～

(3) 構想研究会

- ・2月15日(水)19時00分～、「労協センターの活動」、意見交換。
- ・次回は、3月14日(水)19時00分～、「サポネの家の取り組み紹介」玉井町、鷺埜マンション1階。

(4) 豊中の市民文化を支える会

- ・2月14日。市民文化祭実行委員会。
- ・次回実行委員会 3月7日、サロン

(5) 豊中まつり

- ・NPO化。「豊中大好き人間」を増やしていく。「共催」「協賛」など、いろんなネット活動をつなぐ。
- ・3月24日(土)13時00分～17時00分、設立記念イベント

(6) 2012年度事業計画(案)について議論

○2011年度の計画をベースに、2012年度新しく追加したポイント

- ・東北大震災のあと、東北の震災された人たちの世界への発信は「絆」の大切さだった…。「きずな」のめざしてきた、市民の間の諸関係・「絆」の「再構築」がますます重要…。
- ・よりよい地域社会の実現にむけては、原理主義に陥らず、かつ「上から目線」でない総合的でかつ多元価値での対応を常に意識し、…「市民自治型の分権的社会構造」を構想してすすめます。
- ・豊中市の「中間支援組織」と連携…。市民活動ガイドブックづくりの取り組みで誕生した「共同デスク」を育て、共通するテーマなどの理解をしあい、市民にとって意義のある「中間支援」に…
- ・市民活動情報サロンの今後…、不確定要素もありますが、市民にとって意味のある「場」となっています…、いろんなファクターを考慮しながら、サロンへの関わり方を検討…。合わせて、ポスト市民活動情報サロンについて、きずな活動の「場」づくりなど…。
- ・市民のフリースペースネットワーク、もうひとつの障害者福祉のネットワーク、精神障害のある人の支援ネットワークなど、「きずな」の会員を始め。市民力を活かしたネットワークづくり…
- ・「きずな」のこれからについて、役員体制、世代交代など、存続のあり方も含め議論…

(7) その他

○2月24日(金)15時～、サロン。「(仮称)金曜サロン」

- ・坂田さんから、「大阪ボラ協『大阪府・新しい公共支援事業』として実施する実践型プログラム」。「NPO法人会計基準」プログラム、「認定NPO」プログラムなどの結果について報告。

○足立くん「和歌山台風12号災害支援」。2月5日(土)、6日(日)、那智「復興祈願・勝浦旅行」。

2. その他・連絡事項・スケジュール

○3月のウイークリーサロン

- ・3月15日(木)14時00分～16時00分「地域の活動場所を訪ねて—TIFA カフェ・サバナ、外国人と一緒に運営するコミュニティカフェを訪ねて、地域に根ざした国際交流について話を聞く」

○きずなの会議 ・理事会・拡大事務局会議=3月7日(水)19時～、サロン。

- ・総会・定例会=3月29日(木)19時15分～、国際交流センター。

(記録) 2月のウィークリーサロンの結果概要

◆市民活動交流サロン 「ショーウィンドー展示団体と共に、団体のPRなど、サロンの活用で意見交換」

1. 参加者自己紹介後、趣旨説明。今回は、市民活動情報サロン事業のショーウィンド事業を利用して活動中のグループを中心に交流と率直な意見交換の機会としてほしいと提起した。
2. 各団体から活動概要などの紹介
 - ① (特活)高齢者法務支援ネット…地味な活動なので、他の活動と相乗り展示も。
 - ② (特活)オリーブの園…毎年、新しい事業を目指しているので、試行の機会。
 - ③ 豊中マンション管理士会…国制度の変更などの説明など分かりやすくしたい。
 - ④ グループ・エコー…声の図書活動なので、「見えない」世界をどう見せるか。
 - ⑤ 豊中池田おやこ劇場…ショーウィンドを見たと申込み連絡あった時うれしい。
 - ⑥ なにわエコクラブ寺嶋さん…府レベルの活動なので、地元との付き合う機会。
 - ⑦ (特活)国際交流の会とよなか…活動が幅広く、最近は絞り込んで展示している。
 - ⑧ (特活)ハニービー…障害児デイサービスなど新しい事業紹介に工夫している。
 - ⑨ 豊中に公的子どもオンブズパーソンをつくる会…活動内容を理解してもらう展示で、集まった。
 - ⑩ 豊中平和演劇祭実行委員会…会からのメッセージに子どもたちの声もプラス。
3. 意見交換
 - ①活動の本来の目的とか理念的なものは、きちんと展示の要素として入れなければならないが、展示できるようなビジュアルの素材がある活動はいいけれども、相談活動は地味で、苦労している。
 - ②展示方法、テクニカルな面では、回数を重ねるたびに向上しているようだが、最初、苦労した。展示の事例とか、展示の段取りのようなものが、公募の段階で提供されれば、助かったのだが。
 - ③展示期間中に、展示内容と関わって、アピールするイベントなどを開催したい。以前にもしたこともあるので、今後、案内していくようにしてはどうか。
 - ④展示したあとのフォローだが、会として、どうだったか、また、サロンとして、反響があった場合の記録とかほとんどできていない。これも、アンケート形式か何かでストックしていけたらいいが。
 - ⑤分かりやすさで言えばマンガとか、親しみやすさでは手づくり感とか素人くささがフィットする場合もある。子どもの目を引くことで、親が見ることもある。万人向きの表現、情報を求めている人に応える内容等々、展示の世界は奥深い、

◆地域の活動場所をたずねて サークル翠「民家を活用して子ども文庫や地域で文化交流を進めている」

1. 参加者自己紹介後、趣旨説明、同会から設立経緯などを聞き、率直な意見交換の機会と提起した。
2. サークル翠の伊藤さんから、活動概要など紹介。
 - ①この場所を開設したいきさつは、1997年ごろにリタイアしたが、海外勤務などの経験から何か国際交流の場所として、また、日本の住生活や文化に触れ合えるように住家の一部を改造した。当初、考えていた留学生向けアパートは、近隣の理解の関係で見送って、韓国語講座や日本文化に親しめるよう使ってもらっている。家自体は、1960年代半ばに、購入したが、戦前に建てられたものだけあって、阪神淡路大震災の時もびくともしなかった。
 - ②この活動が大切だと思ったのは、技術関係のしごとに長く携わってきたことも関係している。例えば、机上でものごとを判断したり、決めたりするのではなく、実際に体験すること、また、考案したプランも確実に動かすため工夫に努力することが大切だと思っていて、そういうことを実践できる場所として、いろんなグループに使っていただいている。
 - ③これまで、子ども文庫活動、お神楽のグループ、俳句の会、パッチワークのグループ、韓国語の講座などが利用中。3月末には、東日本大震災による放射能汚染のため、のびのびと体が動かせない被災者の親子10人ほどに、滞在場所として提供、服部緑地とかで、思い切り走り回ってもらおうと計画。
 - ④(サークル翠での意見交換後、伊藤さんの紹介で、近くにある丹羽さん宅の「豊中ぴかそ」を訪ねた)。「豊中ぴかそ」も、サークル翠と同じように自宅の一部をギャラリー風に改造、ちぎり絵、写真、絵画、編み物、小物細工などの作品展示会を月に2日ほど開催、合せてギター演奏などの音楽会も開いている。
3. 意見交換
 - ①サークル翠という名称は、「翠」には、新緑・木の芽など生き生きとした緑の意味あいがあり、サークルは少人数だから自由な活動のイメージがあることなどで決めた。
 - ②ボランティア活動をしている心構えとして、お金や品物にこだわらなくても「布施」ができる仏教典に書かれている「無財の七施」の実践だ。無財の七施とは、眼施(優しいまなざし)。愛語施(思いやりのある言葉を交わす)。身施(自分の身体で奉仕)。心施(他のために心をくばる)。牀座施(競争相手にさえも自分の地位を譲る)。房舎施(風や雨露をしのぐ所を与える)。